

5月12日 看護職員約5千人の労働実態調査結果 記者会見のお知らせ

平素は大変お世話になっております。

コロナ禍で入院できず自宅や施設で亡くなる方が多く出てしまいました。背景には病床の不足だけでなく、医師・看護師・介護職員の深刻な人員不足があります。政府が昨年2月より開始した、看護や介護職の処遇改善は対象職種を限定しており額も不十分です。

今回、私たちは愛知県内で働く看護職員4981名分(22病院)の労働実態調査をまとめました。その中で約7割が慢性疲労を訴え、「十分な看護が提供できている」と思う人が3割に留まっており、過去3年間にミス・ニアミス経験は86%、看護師を辞めたいと思う8割など、絶対的な人手不足を背景にした深刻な実態が明らかになりました。

3月末での退職者が例年より多く、新人看護師の採用では欠員が埋めきれないまま新年度をスタートしている病院もあります。

5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類化されましたが、感染力や重症度が急に下がるわけではなく、現場はこれまで同様の感染対策が求められています。

看護師の労働環境を根本的に改善しなくては、働き続けられない状況は変わりません。

5月12日看護の日に看護労働実態調査の記者会見を行います。報道関係の皆さまお忙しいところと存じますが、調査結果と現場の看護師の声を聞いていただきますようお願いいたします。

また記者会見の翌日、5月13日(土)には、栄での集会・デモ・看護・介護の大幅増員・夜勤改善を求める署名行動に取り組みます。現場の労働者らが実態を訴えながら、市民のみなさんから署名を集めます。こちらもおわせて取材・報道をお願いいたします。

記

① 看護労働実態調査 記者会見

日時:2023年5月12日(金) 13時半~14時

場所:県政記者クラブ

内容:愛知県内の看護職員4,981名の労働実態調査結果の報告
および現場看護師からの訴え

② ドクター・ナース・介護ウェーブ

日時:2023年5月13日(土) 14時~16時半

14時~ 意思統一集会 栄公園(愛知県芸術劇場東側)

14時半~ パレード

15時半~16時半 署名宣伝行動(栄三越前を予定)

問合せ先:愛知県医療介護福祉労働組合連合会(愛知県医労連)

名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館本館403

電話:052-883-6955 F A X:052-883-6956

担当:池田幹人(愛知県医労連書記次長) 携帯 090-5869-2956

以上